



平成29年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、平成29年5月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成30年3月

都市整備部長 安原俊憲

1 総括

- 1 安全・安心な道路環境整備の推進を図るため、道路施設の長寿命化や生活道路の修繕を行いました。また、日本一美しい魅力あるまちづくりを推進するため、植樹柵へのガザニアの植栽や道路清掃を行い、道路空間の美化保全に努めました。
- 2 市民の生命や財産を水害から守るため、雨水幹線の整備、田んぼダムの整備を行い、河川の整備については、県に強く要望するなど県と共に水害に強いまちづくりの推進に取り組みました。
- 3 効率的かつ安定的な農業経営を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備や集落道の拡幅整備を行いました。
- 4 継続的な森林経営や里山の環境保全のため、林道の路面整備や抵抗性松の植栽などに取り組みました。
- 5 北陸新幹線整備事業の着実な推進を図るため、地域振興を目的とした多岐にわたる地元要望への対応を進め、沿線集落の協力・理解を得て、円滑な事業推進に努めました。
- 6 人口減少と高齢化社会に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、立地適正化計画の概要版を作成し、来庁者や関係者への説明や周知を図りました。また、賑わいのある中心市街地の形成に向けて、駅前モニュメントのリニューアルやポケットパークの整備を推進しました。
- 7 良質な住宅提供を行うため、計画に基づき市営住宅の長寿命化工事を実施しました。また、民間木造住宅の耐震化を促進するため、個別訪問等の普及啓発活動を行い、安全・安心で、魅力的な、住みたくなるまちの創造に取り組みました。
- 8 安全でおいしい水を安定供給するため、地震等災害に強い水道管の整備に取り組みました。また、余剰施設廃止による経費削減を図り、水道事業経営の健全化に努めました。
- 9 下水道への接続率向上と公共用水域の水質向上を図るため、水洗化普及促進プロジェクトチームで未接続者に対する戸別訪問を実施しました。また、今後の施設更新計画を作成し、長寿命化による更新費用の見直しを行うなど下水道事業経営の健全化に努めました。

2 課題・今後の方向性

- 1 福井国体に向けた美しいまちづくりを推進するため、国、県など関係機関と協議しながら、道路空間の美化保全に取り組む必要があります。また、台風21号による災害や豪雪による教訓を活かし、安全・安心なまちづくりに取り組む必要があります。
- 2 市民の生命や財産を水害から守り、安全・安心なまちを創出するため、引き続き雨水幹線整備等を行うとともに、共助としての治水対策として、さらに田んぼダム事業を推進していく必要があります。
- 3 農業経営の安定した継続のため、生産基盤の維持補修等に係る経費および時間を軽減し、生産コストを下げる必要があります。そのためには、ニーズの把握とそれに適した事業の導入を行う必要があります。
- 4 水源涵養や土壌保全、生物多様性保全といった、森林の持つ多面的機能を維持するため、引き続き里山の保全と美しい森林景観づくりを進める必要があります。
- 5 北陸新幹線整備事業の着実な推進を図るため、引き続き支援計画に基づき地域振興策の対応を進めるほか、新幹線で支障となる道・水路の付替工事についても対応する必要があります。また、工事や用地協議が円滑に進められるよう、鉄道・運輸機構や県と地元との関係調整を図る必要があります。
- 6 賑わいのある中心市街地とするため、新たに整備する西山公園東山の休憩所を活用し、道の駅、動物園との連携を強化することで、西山公園全体の魅力をさらに向上させ来園者を増やす必要があります。また、「西山公園・鯖江IC連絡道路」の整備に向けて地元住民と協議を進め、整備を推進する必要があります。
- 7 木造住宅の耐震化を進めるため、耐震化の必要性を理解してもらうと共に、耐震改修の方法や支援制度を個別訪問等により市民に周知する必要があると考えられるため、「鯖江市住宅耐震化緊急促進プログラム」に基づき、市内広範囲の旧耐震木造住宅所有者に啓発活動を行う必要があります。
- 8 人口減少や節水意識の浸透、福井市上江尻町の水道施設等の譲渡により料金収入の減少が見込まれるなか、安全でおいしい水を安定供給するため、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進めるとともに、補助事業を活用するなど健全な事業経営に努めていく必要があります。
- 9 一般会計に大きく依存する下水道事業の経営健全化のため、さらなる経費削減と接続率の向上に努める必要があります。また、今後、人口減少等により使用料の増収が見込めない中でも施設の更新は継続するため、収支計画を基に更新計画を立てるなど健全経営に向けた取組みを行っていく必要があります。

3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目>	<取組結果>
<p>1. 安全安心な道路環境とまち美化の推進</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき道路施設の適正な維持管理に努め、快適な歩行空間の整備や街路樹への花木の植栽、道路の清掃に取り組みます。また、冬期間の安全を確保するため、消雪施設の適正な維持管理に努めます。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともに道路の美化に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 2橋 (6m以上の修繕工事の実施) ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所 ◆ 快適な歩行空間整備延長(メガネストリート) 800m ◆ 道路美化延長(スイーパーによる道路清掃) 10,000m ◆ 街路樹の花木(ガザニア)の適正管理延長 1,300m ◆ ガザニアの植栽(上水道管理センター) 20m² ◆ 道路・河川里親の新規登録数 (H28年度末 登録数40件→41件) 1件 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき、坂上橋・津子出橋の修繕を行いました。また、快適な歩行空間の整備として、道路清掃車により有定鳥羽線他5路線について清掃を行い、県道鯖江インター線他1路線の植樹樹にガザニアを植栽しました。また、冬期間の安全を確保するため、幸5号線他3箇所の消雪ポンプ引き上げ点検を行いました。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともに道路の美化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 橋梁長寿命化事業 2橋[A] (6m以上の修繕工事の実施) ◆ 消雪水源施設点検整備 4箇所[A] ◆ 快適な歩行空間整備延長(メガネストリート) 800m[A] ◆ 道路美化延長(スイーパーによる道路清掃) 13,000m[A] ◆ 街路樹の花木(ガザニア)の適正管理延長 1,300m[A] ◆ ガザニアの植栽(定次第2水源池) 75m²[A] ◆ 道路・河川里親の新規登録数 (H29年度末 登録数40件→41件) 1件[A]
<p>2. 災害に強い河川等の整備</p> <p>都市機能の充実したまちを実現するため、河和田川・吉野瀬川の改修に努めるとともに、鯖江市総合治水基本計画を基本に、雨水幹線等(御幸神中一号雨水幹線・日之出舟津雨水幹線、柳二号雨水幹線など)の整備を行います。また、冠水の原因を調査・検討し、解消に繋げ、水害に強いまちづくりに努めます。さらに田んぼダムを整備し河川の負担軽減に努めます。また、県と連携して土砂災害防止施設整備を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 (H28年度末 整備率59.6%→59.7%) 40m ◆ 河和田川改修についての説明会 2回 ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備率 (H28年度末 整備率45.0%→45.2%) 740m ◆ 冠水箇所の調査・解消方法の検討 5箇所 ◆ 田んぼダム整備面積 120ha ◆ 湛水防除事業の計画策定(北中山地区) 12月 ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 (新規採択:小谷川、上谷川 早期完成:西出川、毘紗川) 4箇所 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>河和田川改修の影響と対応については、農業用水を取水している団体(集落)の代表に説明を行うとともに協力を依頼し、吉野瀬川や日野川について、改修促進に努めました。鯖江市総合治水基本計画を基に雨水幹線等(御幸神中一号、日之出舟津雨水幹線など)の整備を行いました。また、市内5箇所において冠水の原因を調査し解消方法を検討し、水害に強い街づくりに努めました。さらに四方谷町をはじめ市内7町内の137haについて田んぼダムを整備し河川の負担軽減に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川施設の整備延長 (H28年度末 整備率59.6%→59.7%) 40m[A] ◆ 河和田川改修についての説明会 2回[A] ◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長 (H28年度末 整備率45.0%→45.2%) 779m[A] ◆ 冠水箇所の調査・解消方法の検討 5箇所[A] ◆ 田んぼダム整備面積 137ha[A] ◆ 湛水防除事業の計画策定(北中山地区) 12月[A] ◆ 土砂災害防止施設の整備促進 (新規採択:小谷川、上谷川 早期完成:西出川、毘紗川) 4箇所[A]
<p>3. 農業生産基盤の更新整備の推進</p> <p>生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の整備を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路更新整備延長 600m ◆ 集落道整備延長 2,000m 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の整備を下新庄町他5集落で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業用排水路更新整備延長 669m[A] ◆ 集落道整備延長 3,700m[A]

4. 林業生産基盤整備の推進

森林は、水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩いの場といった様々な機能を有しており、その機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林保全整備を実施します。

- ◆ 林道の保全（パトロール・草刈等） 36km
- ◆ 林道の整備（路面改良・排水改良） 1,000m
- ◆ 森林景観の再生（雑木伐採・抵抗性松植栽等） 2地区

【成果等】 目標を達成しました。

森林の多面的な機能を維持発揮するため、林道上河内尾花線他2路線の路面整備を実施し、また、自然環境や生態系に配慮した森林保全整備として、石生谷町他2集落において雑木伐採や抵抗性松の植栽を実施しました。

- ◆ 林道の保全（パトロール・草刈等） 36km[A]
- ◆ 林道の整備（路面改良・排水改良） 1,206m[A]
- ◆ 森林景観の整備（雑木伐採・抵抗性松植栽等）3地区[A]

5. 北陸新幹線の着実な推進

北陸新幹線整備事業は、敦賀までの延伸が3年前倒しされ事業工程が大変厳しい状況です。市民との協議が十分に行われるよう、鉄道・運輸機構や県と地元との関係の調整を図ります。また、沿線集落からの要望については市の整備計画に基づき計画的に実施し、用地協議や工事が円滑に推進されるよう努めます。

- ◆ 沿線集落との調整会議 5回
- ◆ 先行事例視察（沿線住民対象） 1回
- ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回

【成果等】 目標を達成しました。

北陸新幹線整備事業は、地元要望対策として市の支援計画に基づき対応を進め、用地取得率は平成30年3月現在で地権者数ベースで95%となりました。また、工事についても、全ての工区で工事が発注され、沿線で本格的な工事が開始されました。

- ◆ 沿線集落との調整会議 15回[A]
- ◆ 先行事例視察（沿線住民対象） 3回[A]
- ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回[A]

6-1. 適正な都市計画・土地利用の推進

立地適正化計画を推進するとともに、適正な都市計画・土地利用を図るため、都市計画道路および用途地域の見直しに取り組みます。

- ◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会の開催 3回
- ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の計画策定 3月
- ◆ 用途地域の見直し検討 3月

【成果等】 目標を達成しました。

立地適正化計画の説明会等により、関係者や来庁者に周知を図るとともに、用途地域内の土地利用状況を調査し、用途地域の見直しを検討しました。

また、「西山公園・鯖江IC」連絡道路のルートに向けたJR横断部の構造、概略ルートおよび概算費を算出しました。

- ◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会の開催 4回[A]
- ◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の計画策定3月[A]
- ◆ 用途地域の見直し検討 3月[A]

6-2. 魅力的な居住空間・生活空間の創造

良好な生活環境を整えるため、景観形成を推進し歴史や自然が調和したまちづくりを推進します。また西山公園一体が市民に愛される憩いの場となるように活性化と魅力の向上に努めます。

- ◆ 道の駅「西山公園」来館者数 50万人
- ◆ 西山動物園来園者数 23万人
- ◆ 屋外広告物の是正 4箇所
- ◆ 公園里親の新規登録数 (H28年度末 登録数83件→90件) 7件
- ◆ ポケットパーク整備 3箇所
- ◆ JR鯖江駅周辺景観整備 2箇所

【成果等】 目標を概ね達成しました。

お盆のナイトズー、正月の特別開園や三井アウトレットパークとのスタンプラリーのほか、仮面女子を活用したPRも実施しましたが、道の駅との連携やイベントの周知が不足していたため、目標を達成できませんでした。

西山公園周辺で屋外広告物の是正を促進するとともに駅周辺でポケットパークを整備し、良好な景観形成を推進しました。

- ◆ 道の駅「西山公園」来館者数 38万人[C]
- ◆ 西山動物園来園者数 19万人[B]
- ◆ 屋外広告物の是正 11箇所[A]
- ◆ 公園里親の新規登録数 (H28年度末 登録数83件→90件) 7件[A]
- ◆ ポケットパーク整備 1箇所[C]
- ◆ JR鯖江駅周辺景観整備 3箇所[A]

7. 安心で快適に暮らせるまち、住みたくなるまちの創造

市営住宅の長寿命化工事、民間木造住宅の耐震化支援を通じ、安全・安心なまちづくりを推進します。また、若者が安心して住み、子育てができるよう住環境への支援を行うとともに、空き家マッチングプロジェクトにより、都市部からの企業や人の流入を促し、若くて元気なまちづくりを促進します。さらに、「アジア建築学生国際サマーワークショップin鯖江」の開催支援を機会に、市の知名度を国内外に発信します。

- ◆ 市営住宅ストック改善事業件数 1件
- ◆ 木造住宅の耐震改修戸数 3戸
- ◆ 住宅リフォーム、購入支援 5件
- ◆ 空き家マッチング広報活動 5回
- ◆ 空き家リノベーション支援 5件
- ◆ アジア建築学生国際サマーワークショップ開催 8月

【成果等】 目標を概ね達成しました。

市営住宅長寿命化計画に基づき改善工事を行い良質な住宅提供に努めました。安全・安心なまちづくりを推進するため、旧耐震基準の民間木造住宅所有者に対して耐震化に向けての啓発活動等を実施し、また、若者の定住化を図るため住環境への支援を行いました。空き家マッチングプロジェクトにより、都市部からの企業や人の流入を促し、空き家利活用者に支援を行いました。さらに、「アジア建築学生国際サマーワークショップin鯖江」の開催支援を行い、市の知名度を上げるための情報発信を行いました。

- ◆ 市営住宅ストック改善事業件数 1件[A]
- ◆ 木造住宅の耐震改修戸数 0戸[C]
- ◆ 住宅リフォーム、購入支援 4件[B]
- ◆ 空き家マッチング広報活動 5回[A]
- ◆ 空き家リノベーション支援 6件[A]
- ◆ アジア建築学生国際サマーワークショップ開催8月[A]

8. 安全でおいしい水の安定供給

災害時における重要施設や避難施設への給水を確保するため、重要管路において耐震管路の整備を行います。また、効率的な事業経営を図るため余剰施設の廃止を行います。

- ◆ 耐震管路の整備延長 (H28年度末 整備率58.8%→59.9%) 790m
- ◆ 余剰施設の廃止 1件

【成果等】 目標を達成しました。

水の安定供給を図るため、重要管路の耐震管整備を行いました。また、使用していない水源地等の廃止を行い経費削減に努めました。

- ◆ 耐震管路の整備延長 (H28年度末 整備率58.8%→60.4%) 1,125m[A]
- ◆ 余剰施設の廃止 2件[A]

9. 下水道の普及促進

公共下水道および農業集落排水への接続の推進に努め水洗化の向上を促進するとともに、認可区域外等に合併処理浄化槽の設置促進を図ることで、公共用水域の水質保全ならびに市民の生活環境の改善に努めます。特に、水洗化については、接続率の低い東部地区を中心に促進に努め経営健全化を図ります。また、不明水家屋調査を実施し、誤接続等の指導改善を行います。

- ◆ 下水道新規接続の推進
 - ・ 公共下水道水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率93.5%→93.7%) 120人
 - ・ 農業集落排水水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率91.0%→92.0%) 150人
- ◆ 合併浄化槽の設置基数(累計) 40基
- ◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数 200戸
- ◆ 不明水家屋調査の実施戸数 100戸

【成果等】 目標を達成しました。

普及プロジェクトチームを中心に公共下水道および農業集落排水への接続率向上の取組みを行い、水洗化促進を行うなど健全な事業運営に努めました。また、認可区域外等に合併処理浄化槽の設置促進を図り、公共用水域の水質保全ならびに市民の生活環境の改善にも努めました。

- ◆ 下水道新規接続の推進
 - ・ 公共下水道水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率93.5%→93.7%) 127人[A]
 - ・ 農業集落排水水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率91.0%→92.0%) 152人[A]
- ◆ 合併浄化槽の設置基数(累計) 53基[A]
- ◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数 241戸[A]
- ◆ 不明水家屋調査の実施戸数 108戸[A]